

駒澤 同窓会だより

Vol.57

KOMAZAWA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWS

駒澤大学 駒澤短期大学 同窓会事務局 2026年（令和8年）9月15日発行
〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
電話 (03)3418-9188・9189 FAX (03)3418-9190
<https://komazawa-alumni.org/>



CONTENTS

- P. 02 スペシャルインタビュー Part 1
巻 誠一郎 (NPO 法人ユアアクション代表／元サッカー日本代表)
- P. 08 スペシャルインタビュー Part 2
岩佐 大輝 (起業家／株式会社 GRA 代表取締役)
- P. 10 特別対談
大石 孝 (駒澤大学同窓会長) × 大浜 平太郎 (テレビ東京報道キャスター)



表紙建物写真ご提供：徳野 崇行 教授（仏教学部）

ココロノサプリメント

「丹霞焼仏」に学ぶ ― 仏像の向こうにあるもの

駒澤大学学長 同窓会名誉副会長 村松 哲文



禅には「丹霞焼仏」という有名な逸話があります。唐の禅僧・丹霞天然が、厳しい冬の夜、寺の木造仏を燃やして暖を取ったところ、帰ってきた僧に「仏を焼くとは何事か!」と責められました。すると丹霞は「仏舍利を探している」と答え、「木の仏に舍利などあるはずがない」と言われると、「それなら、ただの木ではありませんか」と応じたと伝えられています。

この話だけを聞くと、禅は仏像を軽視しているように思われるかもしれませんが、しかし、この核心は、「私たちは何を礼拝しているのか」ということです。仏像は木や石などで造られた「形」ですが、その姿を通して私たちは仏の慈悲や智慧に触れ、自らの心を見つめています。仏像が信仰の目的ではなく、仏の教えへ導く大切な存在なのです。だからこそ仏像は尊ばれるべきですが、形だけに執着すると本来の意味を見失います。

仏像を拝観すると、「美しい仏様だ」「国宝だからありがたい」と感じるがあります。それは仏像鑑賞の大切な入り口です。しかし、静かな表情を見つめ続けていると、不思議と自分の心も穏やかになり、怒りや焦りが和らいでいくことがあります。そのひとときこそ、仏像が私たちに与え

てくれる何よりの恵みではないでしょうか。

私たちは日々、仕事や地位、財産、人からの評価など、多くのものを大切に、それを失うことを恐れています。しかし、それらに縛られすぎると、心は次第に窮屈になります。この逸話は、「形にとらわれすぎなくてもよい」と静かに教えてくれます。本当に大切なものは外側ではなく、自分の心の中に育まれるものだからです。

寺院で仏像と向き合うとき、仏像は何も語りません。それでも、その静かな姿は、「肩の力を抜きなさい」「ありのままのあなたでよい」と、無言のうちに語りかけてくれるようです。

仏像は、礼拝の対象であるだけではなく、忙しい日常の中で自分自身の心に立ち返るための道しるべでもあります。「丹霞焼仏」の逸話は、形の向こうにある仏の心を見つめることの大切さを教えています。その心に触れたとき、私たちの心にもまた、静かな安らぎが灯ることでしょう。

同窓生 (R8.4.1現在) 総 数 269,928人
現住所把握者数 140,566人 (うち、女性会員 42,392人)

在校生数 (R8.5.1現在) 学 部 14,709人 (うち、女子学生 5,896人)
大学院修士課程 138人 博士課程 44人 法曹養成研究科 2人

Information

同窓会ホームページが新しくなりました!

2026年4月よりリニューアルいたしました。
どうぞご覧ください。



同窓会LINE公式アカウント 友だち登録募集!

同窓会では『同窓会LINE公式アカウント』を開設しております。
右記の2次元コードを読み込み、ぜひ、「友だち登録」をお願いいたします。
同窓会情報、ホームカミングデーのお知らせなどを随時、配信してまいりますので、ぜひご利用ください。



第69回 駒澤大学国文学大会のお知らせ

日 時 令和9年2月27日(土) 15:00~16:30
会 場 3号館207教場

※対面形式での開催です。事前申し込み不要。奮ってご参加ください。
※講演会後17:00より懇親会を行います。右の2次元コードよりお申し込みください。



講演会 「『平家物語』の横顔(仮題)」

櫻井 陽子 先生
国文学科教授。専門は『平家物語』を中心とする中世文学。著書に、『平家物語の形成と受容』(汲古書院 2001年)、『平家物語大事典』(共編 東京書籍 2010年)、『90分でわかる平家物語』(小学館 2011年)、『『平家物語』本文考』(汲古書院 2013年)、『平家公達草紙-『平家物語』読者が創った美しき貴公子たちの物語-』(共著 笠間書院 2017年)など



卒業生アンケートを12月に実施します

駒澤大学の教育・研究活動に対するお考えやご意見を伺い、今後の大学改革のための資料とさせていただきます。アンケート調査を実施する予定です。詳細は、下記の方々を対象に別途ご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

対象者：2021年9月学部卒業生、2022年3月学部卒業生
実施時期：2026年12月末（予定）

読者アンケート回答者限定! 抽選プレゼント企画

アンケートにご回答いただいた方に、抽選でプレゼント。駒澤大学同窓生であることが条件です。



巻 誠一郎さんの
サイン入りタンブラー



岩佐 大輝さん原作
サイン入り絵本



岩佐 大輝さん 株式会社 GRA ご提供
ミガキイチゴファームの
ミガキイチゴスイーツセット

※プレゼントの内容は予告なく変更となる場合があります。

応募締切10月31日(土)
アンケート回答と応募はこちらから!



▲Googleフォーム

※抽選プレゼントにエントリーできるのは1人1回までです。
※プレゼントは左記から1点を選んでエントリーしてください。
※当選者には同窓会事務局より、11月中にメールでご連絡いたします。5日以内に返信がない場合は辞退とみなしますので、必ずご確認ください。

駒澤大学の
注目選抜

全学部統一日程選抜

試験日

2027年2月4日(木)

※医療健康科学部を除く

奨学金制度対象
出願するだけでエントリー!
高得点上位 200 名の
合格者 (入学者) に
年間 30 万円の給付

検定料が安くなる!
2~3 学科(専攻)目の検定料は 1 学科(専攻)17,000 円に割引されます。
【全学部統一日程選抜検定料】
単願 35,000 円
2併願 35,000 円 + 17,000 円 × 1 = 52,000 円
3併願 35,000 円 + 17,000 円 × 2 = 69,000 円

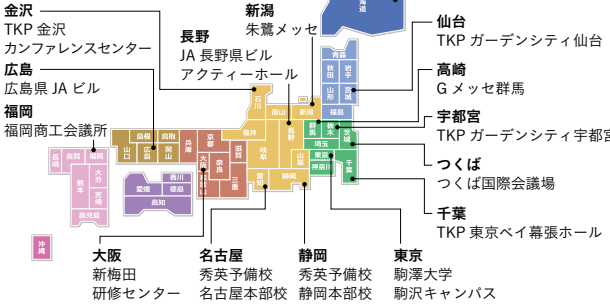
併願受験可能
一度の受験で、どの学部・
学科でも最大 3 学科(専攻)
まで併願受験できます。

英語外部試験利用制度を実施
所定のスコアを取得し証明書類を提出された場合は、
「外国語(英語)」を 75 点に換算します。

全問
マークセンス
方式
記述方式での
回答はありません。

ネット出願
手間いらずの
ネット出願です。

全国 15 会場で実施



※医療健康科学部は、一般選抜T方式で2月4日(木)に全国15会場で選抜試験を実施します。ただし全学部統一日程選抜との併願はできません。 ※詳細は入学者選抜要項を必ずご確認ください。

SPECIAL INTERVIEW
Part1

誰かのために「無理」を「できる」に可能性ある自分

NPO法人ユアアクション代表
元サッカー日本代表

巻誠一郎

「誰かのために」が
力につながる

—2016年の熊本地震の発生直後から支援活動に取り組みました。迅速に行動できた理由を教えてください。

最初から大きな支援活動をしたように思っていたわけはありませんでした。熊本出身なので、地元の人や同級生、近隣の方々に「少しでも早く水や食料を届けたい」、そんな思いから始まったんです。活動を始めると、当時からつながりのあった企業経営者の方や友人たちが「一緒に活動しよう」と集まってくれたので、発災後数日というかなり短い時間でしっかりと支援組織ができました。自分一人の力ではなく、多くの人の支えによって活動の輪が広がっていき、で

ることもおのずと増えていきました。

特に大事だったのは情報です。避難所にいる方々や地域の人たちと直接つながり、正確な状況やニーズを把握することを徹底しました。これがこの活動の「肝」であり、裏側には2000人規模のコミュニティがあつて、多くの方が支えてくれました。

—思いがけないことに出くわしたり、打開が困難な壁にぶつかったりしませんでしたか。

支援活動の中では、「それは無理です」と言われることもたくさんありました。例えば避難所に布団を届けようとしても「2000人いたら2000組の布団が必要なんです」と平等という観点の理由から受け取ってもらえないこともありましたが、でも僕は、それを「壁」と捉えることはあまりなくて、布団も「じゃあ2000組集めればいじやないか」と考えた、「こういう形に変更しよう」と「できない」を「できる」ようにするために、さまざまな方向から物事に対処しようという思考が自然に動くんです。それは、人生の大部分をサッカーが占め、社会への先入観がな

かった僕だからこそ、チャレンジ思考へ転換し、今の活動につながっていると思えますね。ですから「壁にぶつかった」と思ったことはあまりないかもしれません。

—サッカー選手を引退後、指導者の道は考えなかったのですか。

引退後もサッカーに関連した仕事をしたいという思いが、漠然と思うだけでいいから、でも2016年の熊本地震は、僕の人生を大きく変えた出来事でした。自分のためよりも誰かのために動く時のほうが、自分でも驚くほどの力が出ることに気づいたんです。現役時代のプレースタイルも、チームのために泥くさく走り回るタイプでしたし、できない理由を探すのではなく、どうすればできるかを考えるという発想も、サッカーを通じて身についたものだと思っています。ですからグラウンドの外でも同じように、誰かのために行動することで、自分の可能性が広がっていく感覚がありました。

今、関わっている、障がいのある子どもたちのアート活動についても根本は同じです。素晴らしい作品なのに社会的な評価が得られにくいなら、自分たちで価値をつくれればいい。そう考えて著名なアーティストとのコラボレーションが実現しました。

—さまざまな支援活動を展開されている中で、大切にされていることは何ですか。

基本的に、僕は常に何か動き続けているタイプで、1つが形になると、また新しい興味が出てくるので、現状に満足することはありません。ただ、災害が起こった時の支援の形として、「自分のキャ

パを超えるようなことに取り組まない」ということは学びました。僕たちの力だけではどうにもならない時は専門の方々に任せます。

「支援活動」は、誰かのためだけではなく、半分は自分自身のためでもあると思っています。人の役に立ちながら、自分の心もスキルも成長できる。僕の例で言うと、重機が必要な現場で「重機を動かす人手がないなら自分で資格を取ろう」と動く。そう考えると、とても充実した生活につながっていて良い循環が生まれているなと思いますね。

駒澤大学で学んだ「時間のデザイン」

—駒澤大学での思い出を教えてください。一番印象に残っているのは、やっぱりバオですね。授業の合間にずっといて、誰かを待ったり、仲間と話したりしていました。授業よりもその記憶のほうが強いかもしれません(笑)。

大学時代に本当に大きかったのは、「自由」の意味を学んだことです。高校までは寮生活で規律も厳しく、時間のほとんどがサッカーや勉強で埋まっていたんですが大学に入ると、急に自由な時間が増えます。最初は、自由とは好きなことを好きなだけやることだと思っていましたが、ところが、アルバイトをしったり社会との接点が増えたりする中で、自由には責任が伴うことを学びました。自由奔放に振る舞って誰かに迷惑をかければ、それは自由ではなく、ただのわがままです。その違いに気づけたことは大きかったですね。

—学生時代には失敗もありましたか。もちろんありました。友人と夜更かしをしたり、目の前の楽しみにだらだらと時間を費やしてしまったこともあります。

▼令和7年7月 同窓会大分県支部企画
稲葉学園高校女子サッカーチームとの交流



習ではうまいのに試合で力を発揮できない選手がいます。それってどうしてだろうと考えた時、逆に試合で結果を出す選手は、普段から目の前のことに全力で取り組んでいるなどと感じました。結局本番だけ頑張ろうとしても難しいんです。日常の積み重ねが、そのまますべてに表れる。だから常に全力を意識して走り続けた、そんな大学4年間だったと思います。

自分を活かせる場所をつくる

—今後取り組みたいことがあれば教えてください。

いろいろありますが、やっぱり一番楽しいのはサッカーと向き合っている時間です。ですから今後もサッカーには関わりたいですね。最近では、サッカーを通じて地域創生に力を入れています。自治体や、国内のみならず海外も含めた元気な企業とつながりながら、新しい事業や交流を生み出していき取り組みです。企業と地域がつながり潤うと、スポーツにも資金が回って、子どもたちにより良い環境を提供することができると。そんな循環作りに取り組んでいます。

熊本に限らずですが、災害が起こった時に、やっぱり災害が起こる前の姿に戻そうと思っても戻らない。であれば、過去のものや、今あるものを大切に残しつつ、より良いものを作り、新しい形にアップデートさせるマインドや行動も大事だなと思っています。そういう方向に進めたいいなと思っています。

—スポーツの価値をどのように感じていますか。

スポーツは、自分の課題と向き合う力を育ててくれると思います。うまくいかない時、苦しい時、どう乗り越えるかを学べるんです。震災後、多くのアスリートと被災地を訪れました。その時に感じたのは、アスリートの言葉には特別な説得力があるということです。それは、自分自身が数多くの困難を乗り越えてきた経験があるからだだと思います。スポーツは技術だけでなく、人として成長する機会を与えてくれるものだと感じています。

—最後に、現役学生や同窓生へメッセージをお願いします。

僕はこれまでサッカーを続けてきましたが、小さい頃から下手だ、下手だと言われ、大学でも特別上手なタイプではありませんでした。プロになってもチームの中で下手な部類の選手でした。日本代表に入ったら一番下手くそでした。でもだからこそ、人と同じことをするのをやめ、トレーニングや走力、泥臭くチームのために誰よりも早く動くことに取り組みました。社会でも同じだと思います。どこかで必ず自分の能力や才能を活かせる場所があるはずです。大事なことは、そこで「私なんて」と自分を小さく見積もらず、自分に期待すること、そして行動することです。そこで初めて、自分の可能性や課題が見えてきて、もっと自分を活かせる部分が見えてくる。その積み重ねが人生を前に進める一番の力だと思います。

(取材日
令和8年6月2日)

読者アンケート回答者限定

抽選プレゼント企画!



巻誠一郎さんのサイン入りグッズプレゼント
企画の詳細はP.16をご覧ください。

まき せい いちろう
巻 誠一郎 (H15.3/商学科卒)

駒澤大学1年次からスタメンで活躍し、4年次はリーグ初優勝に導き得点王を獲得。2003年ジェフユナイテッド入団後、2005年に日本代表へ初選出され2006年W杯ドイツ大会に出場した。国内外のクラブを経て2014年からは地元ロアッソ熊本でプレーし、2018年に現役を引退。現在は「NPO法人ユアアクション」代表として、熊本地震の復興支援やスポーツを通じた子どもたちの健全育成など、幅広い分野で活躍中。



令和8年度 同窓会奨学金授与式を開催しました

同窓会
奨学金

令和8年6月18日(木)、「令和8年度 駒澤大学同窓会奨学金授与式」が開催されました。本奨学金が「学業奨励型奨学金」へと形を変えて3年目となります。各都道府県から2名ずつ、高校時代に優秀な成績を収めた1年生を対象に給付する形となり、今年度は70名の学生に授与いたしました。授与式には44名の学生が出席し、大石同窓会会長をはじめとする同窓会役員の方々より、決定通知書が一人一人に手渡されました。

この「縁」を大切に、今後も在学生にとって価値ある同窓会であること、また同窓会をより身近に感じてもらえるよう、そして、彼らが将来同窓生となった際には、そのつながりがさらに深い絆となることを願い、本活動を継続してまいります。



令和8年度駒澤大学同窓会奨学金授与式

学生代表 謝辞

この度は、同窓会奨学金に採用していただきありがとうございます。このような貴重な支援をいただけることをうれしく思うとともに、心より感謝申し上げます。

私は、高校時代、文武両道を目標に掲げ、ソフトボール部に所属し、部活動と学業の両立に力を入れてきました。限られた時間で勉強に取り組むことは大変なこともありましたが、最後まであきらめずに努力した経験は私の大きな自信となっています。

大学では、診療放射線技師になるという夢に向かって、専門的な知識と技術を身に付け、国家試験合格に向けて

小川 桃果

(医療健康科学部 診療放射線技術科学科1年)

勉強に励んでいきたいと思っています。また、新たにラククロスに挑戦する決意をしました。新しい環境での挑戦は難しいことが多くあると思いますが、仲間とともに切磋琢磨しながら成長し、大学でも文武両道を実現します。

奨学金は、大学生活をより充実したものにするために決断したラククロスへの挑戦に活用させていただく予定です。いただいた支援を励みに、感謝の気持ちを忘れず目標、夢に向かって努力していきます。

この度は、このような機会をいただき誠にありがとうございます。



夢の実現に向けて。

この度は同窓会奨学金の採用者として選んでいただき大変光栄に思います。

私は高校時代に、硬式野球部に所属し、副主将を務めながら練習に励んでいました。そこで、統率力や継続力、仲間と協力して目標に向かうことの素晴らしさなどたくさんの学びを得ました。

駒澤大学での4年間では、学業に全力で取り組むこと、所属している軟式野球部で全国優勝すること、大学軟式野球の日本代表に選出されることを目標に

石塚 大志

(経営学部 市場戦略学科1年)

日々取り組んでいきたいと考えています。

また、私には将来の夢があります。それは立派な経営者となり、両親をはじめとする、現在に至るまで支えてくださったすべての方々に恩返しをするという夢です。私が専攻している経営学部市場戦略学科でたくさんの学びを得て、将来の夢を必ず実現させます。さらに、駒澤大学の一員となったことに誇りを持ち、今後も勉強や運動に励んでいきたいです。



終わらない挑戦

私は高校時代、水泳競技に打ち込み、国体出場や広島県高校選手権において個人種目で3連覇を達成しました。また、水泳で広島県代表のキャプテンを務め、通う高校でもリーダーシップを図ってきました。私はこれらの経験を通して、目標に向かって努力を継続する力と、挑戦し続ける姿勢を身に付けました。現在は大学で学ぶ傍ら、経営者コミュニティや外部活動を通じて、多くの経営者の方々から経営やリーダーシップについて学び、

瀬尾 日々輝

(GMS学部 GM学科1年)

イベント運営や事業にも携わりながら、実践的な経験を積んでいます。

大学では経営やビジネスについてさらに知識を深め、将来は起業を通じて食に関する社会課題の解決に取り組む、多くの人に新たな価値を提供できる事業を実現したいと考えています。そのために、奨学金は学業や自己研鑽、企業訪問などに活用し、自らの成長につなげていきます。



令和7年度 同窓会表彰式を開催しました

同窓会表彰

同窓会表彰は、駒澤大学同窓生および在学生による優れた成績、功績、成果に対し贈られるものであり、令和8年3月23日(月)に表彰式が開催されました。

主な受賞者は以下の通り

区分	個人/団体	令和7年度 同窓会表彰団体・個人者	※主な受賞内容
同窓生	個人	8名	ミラノ・コルティナ冬季オリンピック出場、叙勲4名、黄綬褒章1名、落語家襲名、UNIVAS AWARDS受賞
	サークル	8団体	空手道部、硬式テニス部、硬式野球部、自動車部、卓球部、軟式野球部、ボクシング部、陸上競技部
	ゼミ	3ゼミ	小野瀬ゼミ、深見ゼミ、ラジエーションサークル
在校生	計	11団体	
	サークル	35名	空手道部、競技ダンス部、硬式テニス部、ゴルフ部、自転車部、相撲部、体操競技部、卓球部、軟式野球部、ボクシング部、陸上競技部
	個人	29名	司法試験2名、公認会計士・税理士試験4名、医学物理士試験6名、宅地建物取引士資格試験7名、学会/学術/文化大会表彰7名、学外所属スポーツ選手権大会受賞2名、応援活動貢献1名
	計	64名	

「まずはトライ」を支える、
心理的安全性の確保

駒澤大学卓球部監督
ながさき たかし
長崎 隆志 (H16.3/英米文学科卒)

一般社団法人大学スポーツ協会主催
『UNIVAS AWARDS 2025-26』
「コーチ・オブ・ザ・イヤー」優秀賞

※マネージャーの鳥山 梓希さん(地理学科3年)も同アワードの「サポーティングスタッフ・オブ・ザ・イヤー」優秀賞を同時受賞

この度は駒澤大学同窓会表彰を授与いただき、心より感謝申し上げます。今回きっかけとなった『UNIVAS AWARDS 2025-26』での受賞は、いつも後方支援をしてくださる卓球部部長の新井先生(医療健康科学部准教授)の全面的なサポートと、仁王 聖雄前監督から私自身が受け継いだ学生支援の考え方のおかげだと感じております。卓球部に携わり気がつけば23年になりますが、選手との接し方に正解はないと時間がたつほど痛感しております。情報があふれ多様化する現代だからこそ、その正解のない対人関係について常に考える必要があると思っています。したがって大学の部活動は単に勝敗を競うだけでなく、大学生活すべてを通じて「人としてどうあるべきか」を考え続ける場所でもあると感じています。そのため、私は「まずはトライし、失敗することがあっても良い」という方針でチーム運営を学生主体に委ねています。失敗から生まれる悔しさや葛藤を実体験として積み重ねることこそが、真の成長に繋がると信じているからです。

また、現在も部活動の最前線で学生支援を続けられているのは、苦しい時にいつも支えてくれる卓球部の卒業生をはじめとする多くの同窓生の先輩方のおかげです。今回の受賞は駒澤大学が「ワンチーム」であり続けているからこそその成果であり、これを大きな励みとして、明日からも変わらず学生支援を続けてまいります。

※『UNIVAS AWARDS 2025-26』「コーチ・オブ・ザ・イヤー」の概要は右記2次元コードをご確認ください

ギャルAI研究の評価と
母校の研究環境への期待

駒澤大学大学院修士課程 GM研究科 GM専攻2年
いけがみ ももか
池上 桃花 (R7.3/GM学科卒)

「WISS 2025/Unity賞」受賞

現在、私は「ギャル」の価値観やコミュニケーションの特徴をAIに取り入れた対話エージェントの研究に取り組んでいます。人々の日常が少しでも前向きで明るくなるような技術を作りたいという思いから始めた研究ですが、幸いにも同窓会をはじめ、国内外の学会や研究者の方々から高い評価をいただく機会に恵まれ、大変光栄に感じています。

一方で、研究活動を進める中では、駒澤大学の研究設備や大学院生への支援体制には大きな課題があると感じました。特に私の出身であるグローバル・メディア・スタディーズ学部は、文系・理系の枠を越えて学べる魅力がある一方で、高度な研究を継続するための環境は十分とは言えず、多くの困難を経験しました。

都内の他大学では当然整備されているような設備や支援が不足している場面も少なくなく、学生個人の努力だけで補うには限界があります。大学には、卒業生・在学生の成果を誇るだけでなく、研究機関としての責任をより強く自覚し、後輩たちが同じ苦労を背負うことなく研究に打ち込める環境を整備していただきたいと願っています。今後は他大学の博士課程へ進学を予定しており、技術と人との架け橋となる研究者を目指して、一層努力を重ねていきたいと思っています。

WISS 2025/Unity賞 とは

UI(ユーザーインターフェース)やソフトウェアのイノベーションが集う、国内最高峰のHCI領域のシンポジウム「WISS 2025」。その中でも「Unity賞」は、本研究の独自性や将来性に加え、実用性とエンタメ性を兼ね備えた先進的なアイデアと技術が高く評価された研究に贈られる。

同窓会表彰式



ALUMNI CAREERS

キャリア同窓生

同窓生紹介

大学関係

今号は、学生時代の勉学を活かしキャリアを積まれたお二人の同窓生をご紹介します。若手ながらも日々の業務に確かなやりがいを見だし、それぞれの現場で生き生きと躍動するひたむきなお二人をご紹介します。

東北へ移住し、 挑戦を続ける

東日本旅客鉄道株式会社
福島事業本部
福島乗務ベース
山本 瑠美
(R4.3/地理学科卒)



私は子どものころから地理が好きで、地理学科に進学しました。地域を独自の視点で捉える仲間や、地理学の面白さを教えてくださる先生方との出会いは、今も印象に残っています。

在学中に参加した東日本大震災の復興応援ボランティアをきっかけに、現地訪問や学びを重ね、「東北に住み、地理学科での学びを活かして関わりたい」と考えるようになり、入社時に東北エリア勤務を希望しました。現在もその学びを活かし、社内の東日本大震災の語り部活動や、沿線地域を紹介する広報誌コラムの執筆に取り組んでいます。また、社会人になった今でも、震災伝承館や図書館で情報を集め、個人的にインプットを続けています。

入社後は、駅業務（改札やみどりの窓口）と、在来線の運転業務を経験しました。運転士は想定外の進路でしたが、多くの方に支えられながら、現在はやりがいをもって乗務しています。桜が見ごろの季節には、沿線の桜並木の景色をお客さまに楽しんでいただくため、一部速度を落として走行するなど、運転士職場ならではのサービスも実施しています。四季の移ろいを感じながら乗務できるのも、運転士の仕事の魅力です。

今後も安全を最優先に、お客さまを目的地へお届けする使命を果たしていきたいと思います。



現場百遍！！ 周囲を巻き込み、複雑難解事件を 解決へ導く弁護士を目指して

さくら共同法律事務所
弁護士
かとおの はるひろ
上遠野 晴大
(R7.3/法曹養成研究科
法曹養成専攻修了)



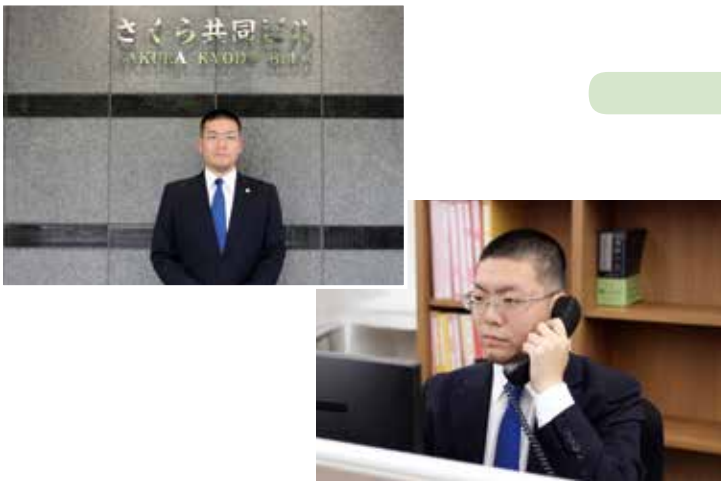
皆様初めまして。私は現在、新宿区四谷にあります「さくら共同法律事務所」で弁護士として働いております。

当事務所は、企業法務から個人の顧客に対する相談まで幅広く受任しており、また、取り扱う法律も多種に及ぶので、ありとあらゆる法律問題に対応しております。特に訴訟受任件数が圧倒的に多いため準備書面の作成といった業務に励んでいます。

争いごとが発生した場合、最終的には裁判で決着をつけざるを得ませんが、この裁判で当事者を代理してその権利を守るのが弁護士の仕事です。深刻な表情を浮かべている依頼者の相談を受けていると、自分の仕事によって人の人生が左右されるのだと、その職責の重さを日々実感しております。

司法試験を受験しようと考えたのは、大学4年生の秋近くだったと思います。幼いころから警察官になりたかったのですが、力及ばず不合格。それでも、困っている人の力になれる仕事がしたいという思いが強く、司法試験を受験するため法科大学院進学を決めました。大学院時代は人生で一番勉強した期間であり正直苦しかったです。それでも、先生方や職員の皆様に支えられ無事に乗り切ることができました。

今後もより一層勉学に励み、大規模紛争を解決に導ける弁護士を目指して頑張ります。



キャリアセンター 公認OB/OG訪問サービス ビズリーチ・キャンパス

駒澤大学では、学生の自発的なキャリア形成を後押しするため、2026年4月にOB/OG紹介・訪問のための公認サービスとして「ビズリーチ・キャンパス」を導入いたしました。従来の紹介方法における管理や安全面の課題を解消し、全国や海外で活躍する同窓生と在学生とのつながりを強固な仕組みとして構築します。

サービスの特徴・メリット

① オンラインで完結するOB/OG訪問

OB/OGの検索から訪問依頼、メッセージのやり取り、ビデオ通話による面談まで、すべてのステップがこのサービス内で完結します。全国各地や海外など、物理的な距離や時間の制約を超えて、様々な業界で活躍する多くの先輩と手軽かつタイムリーに交流することが可能になりました。

② 専用サイトでの共通点検索

駒澤大学専用のプラットフォームが提供されるため、登録している先輩の出身学部やサークル、ゼミといった共通点をきっかけに探すことができます。顔の見える親しみやすい環境の中で、自分の将来のロールモデルとなるびったりの先輩を主体的に見つけやすい仕組みです。

③ 徹底した安全対策

学生やOB/OG個人の連絡先を双方交換する必要はなく、また訪問が承諾されるまでは名前は双方非開示となっており、安全対策が徹底されています。さらにサービス内のメッセージは24時間監視されており、目的外利用から双方を守る信頼性の高い環境が整っています。

お問い合わせ先 駒澤大学キャリアセンター ☎03-3418-9092

利用案内

在学生向け

全学部・全学年の学生を対象に、時期を問わず無料で利用可能です。就職活動の早期化に対応し、早い段階から社会や仕事を知る機会として、業界研究や自己分析に積極的に活用してください。詳細や登録方法については2次元コードから大学ホームページをご確認ください。



OB/OG向け

母校の後輩たちの「意思あるキャリア選択」を応援していただける同窓生の皆様のご登録を募集しております。サービス内で情報提供の許諾をいただいたボランティアOB/OGの登録情報は、大学側とも月次で共有され、学内イベント等のご協力依頼にも活用されます。2次元コードよりぜひご登録をお願いいたします。



▲在校生
OB/OG共通
2次元コード

食支援プロジェクト9を開催しました

駒澤大学では2021年より、多くの企業・団体・個人の皆様からのご協力を得て、食料品や生理用品の配付による直接的な学生支援を継続しています。

去る7月15日(水)～17日(金)に開催した「食支援プロジェクト9」では、パックご飯やパスタ、カレー、乾燥野菜、お菓子など、8万食を超える食料品を無償で配付し、3,800人を超える学生が来場しました。また、毎年、世田谷保健所の管理栄養士による健康相談ブースも設置しており、食生活のアドバイスをを行うことで学生が自身の健康(ウェルビーイング)について考える大切な機会にもなっています。

本プロジェクトでは、大学が作成した「Amazonほしい物リスト」を介して、個人の皆様からの現物寄付も募りました。多くの同窓生の皆様から温かいご支援を賜りましたことを、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。物価高騰の中で勉学に励む学生たちの大きな支えとなりました。

次年度以降もこの取り組みを継続してまいりますので、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学生の声

Amazonを介したご寄付で、駒澤大学を卒業し、社会で活躍なさっている先輩方からの温かい応援のメッセージが掲示されており、期待をお返しできるように頑張っていく原動力をいただきました。

実家を出て家賃・学費以外ので、このような食料支援は大変助かります。

感謝の気持ちを忘れずに、1食1食を大切にしたい。

ご飯をいただけたのはもちろんですし、学生を気遣ってくださる心が何よりも染み込みました。



▲詳しくはこちら

退職された先生(令和7年度)

文学部地理学科	江口 卓 教授
	土谷 敏治 教授
経済学部	宮田 惟史 教授
	大津 健登 教授
法学部	原口 伸夫 教授
	三竹 直哉 准教授

グローバル・メディア・スタディーズ学部	石川 憲洋 教授
	小川 順敬 教授
総合教育研究部	鈴木 裕子 教授
	秋田 浩一 教授
法曹養成研究科	柴谷 晃 特任教授

——起業は早い方がいいと思いますか。それとも現場でスキルを積んでからの方がいいのでしょうか。

失敗を恐れず、パッションが導く方へ



品には、「大きくて甘い」という「機能的価値」だけでなく、「素晴らしい箱に入っていて、プレゼントされたらドキドキする」という「情緒的価値」をつけます。機能的価値は下げず、最高基準に高めた上でパッキングを行う。商品、ストーリー、場所、人、すべてが美しくつながらないと高くは売れません。

私はアーリースタートをお勧めします。今は過去の経験値やニーズはAIやテクノロジーで代替できてしまっています。早々に起業して、早い段階で失敗を重ねたほうが結果的に成功までの時間を短縮できる可能性が高いと思います。既成概念や社会のルールが中途半端に染み付いてしまいう前にクリエイティビティを発揮すべきです。「知識がないから起業しない」というのは違うのではないかと思います。

——これまでに失敗した経験や、経営上で危機を感じた瞬間はありますか。

ほとんど失敗ばかりで、自分の感覚では、成功よりも100倍は失敗しています。お金が完全になくなって、仲間とトイレトペーパーさえ節約しようと話し合ったこともありましたが、なんとかするために夜の定食屋でアルバイトもしましたし、うまくいかない時はとにかく足を使ってさまざまな人に会い続けました。地道に行動を続けてきたからこそ、新しい出会いにつながり、何とかなったのだと思います。

——途中で「辞めよう」と思ったことはなかったのですか。

それはなかったですね。最低限の

生きるお金を稼ぐことはできましたから。本当につらかったのは、最初の1〜2年ほどだけだったかもしれません。

——もし自分の会社と同じアイデアを大手企業に真似された場合、知名度やステータスで負けてしまうのではないかと不安になりませんか。

ビジネスですからパイを取り合う戦いになるのは当然です。重要なのは、どうやって「構造的競争優位」、つまり他社が排他的に真似できない仕組みを作れるかです。それは過去の経験から身につくものではなく、今ある頭で必死に考え、走りながら作っていくものです。最初のパッ



SPECIAL INTERVIEW Part2

ITの強みを活かした高級イチゴ生産の起業家が語る「人間力ある生き方」とは



起業家／株式会社GRA代表取締役

岩佐 大輝

IT企業経営を経て、震災後に株式会社GRAを起業し、高級ブランド「ミガキイチゴ」で農業の6次産業化を推進された岩佐大輝さんが、起業に関心のある2人の学生と対談。これからの時代を生きる若者へ、一歩を踏み出すためのヒントを贈ります。

周囲と同じ道ではなく自分がやりたいことを選ぶ

——まず岩佐さんについて教えてください。どのような仕事や活動をされているのですか。

農業生産法人の経営をするほか、武蔵野大学で教員も務めています。農業では、イチゴをターゲットにブランドを確立させ、ITやロボットといったテクノロジーを導入して、農業にまつわるさまざまな課題解決を進めました。ライフスタイルではサーフィンや釣りを楽しみ、一つの枠にとらわれず自由に生きています。——さまざまな事に取り組む姿勢は、いつ頃から身についていたのですか。子供の頃から自分で時間を組み立て、新しいことに挑戦するのが好きでした。親が欲しいものを買ってくれない教育方針だったので、小4から新聞配達をしてお金をため、30〜40万円するパソコンを買いました。当時はまだ町に数人しかパソコンを持っていない時代に、プログラムを自作しては雑誌へ投稿するような、いわゆる「パソコン少年」でした。

——大学生の頃は、どのようなことを考えていましたか。

19歳で上京した頃は、パソコンのソフトを開発して生活していました。21歳になってから大学へ入学しましたが、当時は就職氷河期。「自分で起業するしかない」と考え、在学中の2002年にIT企業を創業しました。インターネットが仕事になる時代で、たまたま自分の能力が時代にヒットした感覚です。

——仕事を続ける中で、大きな転機はありましたか。

2008年のリーマンショックで会社が大変な損害を受け、改め

て会社が大変な損害を受け、改めて

——自分の強みはどのような視点で見つけばよいでしょうか。

たった一つ、「情熱」です。「心の底から湧き上がる熱意」と言い換えてもいいでしょう。今の時代、これくらいしかAIと人間とで差がつくところがないと思います。「自分はこう生きてきたか」「世の中はどうしたいか」という思いが、総じて自分の強みにもなる。私が農業を始めた時も、どう業界に刺激を与えるか、周りをどう巻き込んでいけるかを考えていました。人を巻き込むために必要なのは、何より自分自身が楽しそうにすることです。ハッピーなライフスタイルを見せると、自然に人が集まってくるんです。

先ほどお話しした「1粒1000円のイチゴ」における『機能的価値（突き抜けた品質）』と『情緒的価値（パッケージ）』の関係は、人間にもまったく同じことが言えます。自分の能力の中で、個性としてどこか突き抜けて光っているところがあるかどうか。経営者に必要な要素は、やっぱり最後は「人間力」に尽きるのだと思います。



て経営を勉強しようとMBA取得のために大学院に通いました。しかし2011年に東日本大震災が起き、宮城にある実家のイチゴ農家が津波で流されてしまったんです。当時ビジネスはうまくいっていましたが、「今これをやっている場合じゃない」と会社を譲って宮城に戻り、農業生産法人を立ち上げました。



自分の強みを活かしてイチゴ農家に変革を起こす

——異業種であるイチゴ農家への転身は、すぐになりましたか。

最初に農業歴40年の大ベテランに教えるを請いたら、「イチゴ作りは人に教えるものじゃない、イチゴにしゃべりかける」「（イチゴの声）が分かるまでに15年かかる」と言われたんです（笑）。それでは時間がかかりすぎるし、技術としても不確か。そこで自分の強みであるテクノロジーを使ってベテランの勘や経験という暗黙知をデータ化し、簡単に再現可能にできないかと考えました。ITと農業を掛け合わせた結果、経験のない若者でもベテランの技を再現できるようにしました。



——これから起業したい、あるいは事業を続けていきたいと考えている若者へメッセージをお願いします。

起業家がクリエイティブであり続けるためには、さまざまな所に行つて、さまざまな人に会うことを意識してほしいですね。学校の勉強とは別に多くの人の接点を持ち、さまざまな地域の空気や香りを肌で嗅ぐことを若いうちからやっているかどうかが大切です。フィジカルな移動による接点をとにかく多くしてほしいと思います。

——自分の目で見て、肌で感じることも大切ということですね。

そうですね。そうすることで本当にやりたいことに気づくことができます。自分のワークと、社会のニーズがつながる「接点」こそがビジネスになります。最後に差がつくのは、やはり「情熱」です。ドキドキするとか、「いい感じ」と思える感覚を大事にしてください。最後は自分の直感を信じて選ぶということです。「これだ」と思った道を選んだなら、その選択を正解にしていけるが人生です。自分をしっかり磨き上げれば、必ずいい未来が待っているから。

INTERVIEWER

豊田 陽大（市場戦略学科3年）
渡辺 音羽（GM学科3年）

起業に関心があり、日頃の疑問や率直な思いを直接伺えました！



岩佐 大輝

(H15.3/経済学科卒)

宮城県山元町生まれ。大学在学中にIT企業を起業。2011年の東日本大震災をきっかけに、被災した故郷でイチゴの農業生産法人・株式会社GRAを設立し、地域復興に取り組む。経験や勘が必要とされる農業にITテクノロジーを導入する手法が評価され、「総務省テレワークトップランナー2025 総務大臣賞」を受賞。現在は起業家としての活動にとどまらず、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部の教授としてビジネス教育にも尽力している。著書に『絶対にギブアップしたくない人のための成功する農業』（朝日新聞出版）など多数。



——1粒1000円のイチゴというのは、どのような基準で価値が決まるのですか。

百貨店の外商などで特別なお客様向けに売られています。こうした商

「ミガキイチゴ」の名前はカジュアル品には一切つけない、セグメント」とにクオリティを明確に分けています。頂点にある価値を徹底的に伸ばすことで、全体の価値も引き上げられるのがブランディングの重要なところ。

——1粒1000円の価値を維持するために、どのような工夫をされていますか。異なる価格帯を広げることで、ブランド価値が損なわれるリスクはありませんか。

特別対談

エネルギーを呼び合い、未来を動かす

—学生・同窓生・大学が共に創る駒澤の新しいカー

大石 孝同窓会長と、報道キャスターの大浜 平太郎氏による特別対談。経済分野で活躍する二人が、学生の選択肢を広げる取り組みの提言、AI時代に生きる縦のつながりの価値について語り合います。



大石 孝

大浜 平太郎

大石 私は同窓会に積極的に関わるようになってから35年になります。当時、野球部の太田誠監督から「駒澤大学にもしつかりとした同窓会組織をつくらなければいけない」と声をかけられたことが始まりでした。全国の支部づくりにも携わり、本当に多くの同窓生と出会ってきました。同窓会をこまで育ててくださった最大の功労者は太田終身名誉監督だと思っています。

大浜 私も最近、同窓生として講演や卒業式でのご挨拶、同窓会表彰式など駒澤大学との関わりが増えてきました。大石さんは長く学生たちと関わられています。この35年間で学生の変化を感じていますか？

大石 本当に優秀な学生が増えました。今年も同窓会表彰式を行ったのですが、在学中に公認会計士試験などの難関資格に合格した学生が多数いました。それだけでも驚くことですが、試験に臨む理由にも驚かされました。「将来コンサルティング業界で活躍するための武器として資格を取る」というような、将来への明確なビジョンを皆さんが持っていた。資格取得そのものがゴールではなく、その先を見据えている。そういう学生が確実に増えていると感じています。

大浜 私も優秀な学生が増えたなと感じています。ただ一方で、何か目標を持って学生時代を送りたいと思いがち、そのきつかけを見つけない学生も多いと思います。そういう学生に対して、大石さんはどのようなアドバイスを送りますか？

大石 学生たちは選択肢を数多くもつことが大切だと思います。例えば、授業以外にも挑戦できること

という手法があります。大勢を対象に世論調査のような手法で平均像をつかむ方法とは異なり、一人を深く追究することで、多くの人に共通する本当のニーズを見いだすというものです。大学にこの手法が適しているかどうかは議論の余地があるかもしれませんが、学生の本当のニーズを拾う手法としては面白い。大学もそんな視点を持つと、もつと学生に寄り添えるのではないのでしょうか。

大石 その通りです。そして、それを実践できる人材が必要です。昔は「適材適所」と言いましたが、今は「適所適材」。必要な場所に必要な人を配置する発想が欠かれません。

大浜 もう一つ感じるのは、同窓生と学生との距離です。駒澤大学には各界で活躍する同窓生が本当にたくさんいます。でも、その力を十分に活かされてはいない。

大石 本当にそう思います。同窓生が持つ力をもつと学生に還元したい。そのためには同窓生も大学も、もつとネットワークを確立してさまざまなキャッチボールを重ねる必要があります。

大浜 学生自身が同窓会や大学をもつと面白くするプロジェクトを企画してもいいですね。学生も同窓会も大学も一緒に考える。そんな文化ができれば、大学が一気に発展していくような気がします。

大石 そうですね。大学の外側にいる同窓生だけでなく、学生たちが自ら生き生きと自分たちのために動き出すと、エネルギーがエネルギーと呼び合って活性化するということは大いにあると思います。

大浜 同窓生として自分から旗を振って「さあ、ついてこい」というスタイルはあまり自分には向いていませんが、「一緒にやろう」ということであれば、私も手伝うことができる気がします。同じように感じる同窓生もたくさんいるのではないのでしょうか。

大浜 大石さんも私も長年ビジネスの世界に身を置いているので、少しそのあたりのことを話したいのですが、最近AIや半導体関連への期待が市場を引っ張り、記録的な株高となっています。しかし半導体はすでに品薄で、AIに不可欠なデータセンターも電力や冷却水の不足という課題に直面しています。今後世界や市場はどのように変わっていくと予測していますか？

大石 市場には需給の背景がありますが、私はAIそのものに大きなリスクを感じています。今は誰もがその恩恵を受けていますが、この先もそれが続くと思いますか？もしAIを提供する企業や国が「使わせない」と言い始めたらどうなるのか。日本は自前で技術を持てる

のか。

大浜 AIを開発する人たちは、「あまねく人類を幸せにするためにAIはある」と言っていますが、今後は使える人と使えない人に分かれ、格差が広がる可能性があるということですね。

大石 格差の象徴ともいえるのがスペースXの株式上場に見られたと思いますが、時価総額が300兆円を大幅に超え、たつた1社で、日本の国家予算の3倍規模にもなりました。

大浜 スペースXが評価される理由は理解できます。地上のデータセンターには限界があり、宇宙空間に巨大なデータセンターを作ろうという発想には夢があります。

大石 しかしこれはある意味恐ろしい事態です。このような超巨大企業が世界を動かす時代に突入したわけですから。

大浜 そうですね。スペースXには、ガバナンスのあり方など考えなければならぬ課題も多々あります。IT系の企業のトップなどにも独裁的な思考の強い人たちが非常に増えているように感じます。

大石 そういう点でみると、今は、ヨーロッパの中世の貴族社会や日本の戦国時代に似ているのかもかもしれません。ただ歴史的に見ても、一つの勢力が永遠に勝ち続けることはありません。だからこそ、流行だけを追うのではなく、広い視野を持つこ

とが大切なんだと思います。

大浜 学生にも広い視野を持つためのアンテナを高く持つてほしいですね。金融業界の第一線で活躍された大石さんならではの、アンテナを高く張るためのコツはありますか？

大石 私は「会いたい」と思った人には必ず会いに行きました。本を読み、記事を読み、それでも気にならば直接会う。画面越しでは分からないことが、人と向き合うことで見えてくるように思います。

大浜 私も取材に出ると同じようなことを感じます。もう一つ思うのは、アンテナを張る上で「謙虚さ」が大切だということです。子供の頃から頭が良く、情報に対して最初から「そんなの知ってるよ」という人と、世の中知らないことばかりなのであらゆることを吸収したいと謙虚に思う人とは、情報に対する間口が大きく異なります。だから謙虚であれば、アンテナの感度も必然的に高くなる気がします。

大石 礼儀と謙虚さ。それは仏教の教えを教育の柱に掲げる駒澤大学の学びの精神から得られることのひとつでもありますね。

大浜 そうですね。AIが席巻する時代だからこそ、人間の役割や存在価値について考えることが増えています。私が思うに、今後は「人間力」がますます価値を持つ時代になるのではないのでしょうか。で

は人間力って何なの？という、人の話を聞き、人となりが育める力であり、その人間力を育てる土壌が仏教の教えにはあるのだと思います。

大石 同感です。駒澤大学には26万人を超える同窓生がいます。後輩から相談されれば必ず力になつてくれます。遠慮せず、同窓会を訪ねてきてください。駒澤大学というつながりを大切にしながら、多くの人とのお出合いを楽しみ、自分自身の可能性を広げていきましょう。

ポテンシャルを秘めた学生たちに、多くの選択肢を

大石 孝

(S54.3/経営学科卒)

1979年経営学部卒業後、証券業界で活躍し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券常務執行役員や三菱UFJ国際投信専務取締役、顧問を歴任。2025年よりFOLIOホールディングス顧問に就任。2021年には駒澤大学同窓会第5代会長に就任し、学校法人駒澤大学理事としても母校の発展に尽力されている。



AI技術の進化：今こそ不可欠な「人間力」の価値

同窓生との交流、社会との接点など、自分自身で選択肢が広がる環境があるといですね。学生のレベルが上がっているのに、大学に多くの選べる環境が十分に整っていないのが課題だと思います。

大浜 我々同窓生も、教職員の皆さんも、大学にもつと発展してほしいのでいろいろな事を提案しますが、それが本当に学生にフィットしているのかと感ずることがあります。最近のマーケティングに、一人の対象を徹底的に掘り下げる「N1分析」



大浜 平太郎

(H5.3/法律学科卒)

1993年法学部卒業後、テレビ東京に入社。1995年より『ワールドビジネスサテライト (WBS)』のサブキャスターを務めるなど経済報道を中心に活躍し、2008年には『ニュースFINE』のメインキャスターに就任。長年にわたり取材活動と情報発信を続け、現在『News モーニングサテライト』『円卓コンフィデンシャル』等を担当している

新支部長就任の挨拶・新監査人紹介

櫛を受け継ぎ 次代へ繋ぐ

このたび、北海道日胆支部支部長を拝命いたしました増坂です。結成以来、会を発展させてこられた荒澤 義範老師よりこの櫛を受け継ぎました。任期中の目標は、全国共通の課題である同窓会活動の次世代への継承です。

かつて私達が先輩方より厳しくも温かな支えを受け、生きる力を身に付けたように、その思いを次世代に繋ぎます。

支部長就任に際して

このたび、北海道網走・北見・紋別支部長を仰せつかりました庭野 徳芳と申します。前任の佐伯 至純師よりバトンを受け継ぎ、同窓会の親睦の輪を広げたいと願っております。力不足とは存じますが、

更なる躍進を祈念します

昨年11月の総会で支部長に就任しました秋山 孝雄です。よろしくお願いいたします。昭和45年の入学で「道憲寮」に在籍しました。当時は、部活の“〇”禅一如、サークル、県人会の活動、また学生運動も残っていた頃です。キャンパス内も大きく変化しましたが、隣接の駒沢公園内の木々も成長し、素晴らしい環境になりました。旃檀林の昔か

茨城県支部長就任のご挨拶

茨城県牛久市、私は2時間駒沢まで通学しておりました。牛久市には日本初となるワイン醸造所牛久シャトー、日本遺産にも認定されました。また、横綱72代稀勢の里の出身地です。先輩が野球部におりましたので神宮にはよく行きました。中畑さんは後輩にあたります。県下では高萩の市長、日立市の副市長が出身であります。

繋がりを育む支部活動

本支部はこじんまりしていますが、その分お互いの距離が近く、気軽に交流できる雰囲気があります。年代や職業は違っても同窓生という共通点が絆となり、親睦を深めています。現在は、女性部会と連携しながら、バス旅行の企画にも取り組んでいます。こうして支部活動に励めるのは、充実した大学時代のおかげです。母校への感謝の念が、活動の原動力です。

徳島県支部長就任にあたり

本年2月の支部総会にて支部長の重責を拝命いたしました。多数の先輩と出会い自分自身も成長させていただいた駒澤大学同窓会に感謝いたします。学生時代を顧みれば神宮の杜での駒大応援、球場でのアルバイト等青春の1ページと共に懐かしい友の顔がよみがえってきます。私は同窓会とは古き友、新しき友との絆を作る扉であり、その絆

新支部長就任のご挨拶

このたび、香川県支部長に就任いたしました福原です。私の在学中は学園紛争の激しい時でした。安田講堂事件をご存じの方も多いと思いますが、ご多分に漏れず駒澤大学でもデモが頻繁に行われた時代でした。私は入学と同時にクラブに在籍し、学校が荒れた時代でしたが充実した4年間を過ごすことができました。

これからは、支部長として県内卒業生の皆様と共に、同窓会を通じ

同窓会監査人紹介

八巻 克彦監査人（S57.3/政治学科卒）が令和8年4月1日付にて就任しました。



胆振・日高支部長 増坂 澄俊（S48.3/仏教学科卒）

大局観を持って支部のありようを問い直し、若い世代にも呼びかけ、皆さんの声を聞きながら、同窓会活動に刷新をもたらし支部組織を作り上げて参ります。各支部のロールモデルを提示できれば望外の喜びです。

以上、一言申し上げ就任の挨拶といたします。

網走・北見・紋別支部長 庭野 徳芳（S63.3/禅学科卒）

網走・北見・紋別地区の諸先輩方、後輩の皆様、同窓会活動のご支援とご参加をよろしくお願い申し上げます。

福島県支部長 秋山 孝雄（S49.3/禅学科卒）

らの歴史と伝統の駒澤大学に学べたことに感謝しています。駒大は知名度も難易度も上昇しています。更なる興隆と発展を願うものです。支部においては会員の交流と親睦を図りながら、県内各地区の活動がますます親密になる事を願っています。

茨城県支部長 根本 洋治（S50.3/経営学科卒）

私は在学中は詩吟部に在籍し、今でも深交があります。市長在任中は職員の中に大学のOBが8名ほどいましてよくのみました。知人の子供、高校の後輩がいますので、先輩と共に楽しい支部にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

群馬県支部長 栗木 信昌（S52.3/仏教学科卒）

今後、各県支部の優れた取り組みやアイデアを共有し合い、新たな活動へと発展させていきたいと考えています。皆様が楽しみになるような温かい支部づくりに努め、同窓生の輪をさらに広げて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

徳島県支部長 澤田 耕三（S55.3/社会学科卒）

を育んでいく場だと考えております。一人でも多くの方が同窓会に参加していただけるよう尽力させていただきます。多士済済たる駒澤大学卒業生の皆様、出会いの扉をたたいてみませんか。

香川県支部長 福原 昌文（S45.3/仏教学科卒）

て交流をより一層促進していきたいと願っています。幸いにも現在の事務局長は支部活動を積極的に推進してくれる素晴らしい方であり、安心して活動に従事できると確信しております。母校である駒澤大学の発展に寄与できるよう、様々な取り組みを進めて参りたいと思っています。

駒澤大学同窓会 収支決算書・収支予算書について

同窓会ホームページに公開しております。2次元コードからアクセスの上、ご覧ください。（同窓会HP▶「駒澤大学同窓会について」▶収支決算書・収支予算書）



令和7年度事業報告・決算報告
令和7年度事業報告・決算報告がなされた後、監査人より会計監査報告と業務監査報告が行われた。本件について審議の結果、承認された。

令和8年度事業計画（案）・予算大綱・予算（案）の件
令和8年度事業計画（案）・予算大綱・予算（案）の件

静岡県支部富士宮駅伝支部活動支援の件
静岡支部と富士宮駅伝応援有志会が連携して行っている富士宮駅伝競走大会への費用負担の支援を行うことが提案され、審議の結果、承認された。

支部役員・女性役員の交代・新規選出報告
令和7年6月から令和8年5月にかけて、支部長交代は7名（胆振・日高、網走・北見・紋別、茨城、群馬、福島、香川、徳島）、事務局

令和8年度志願者数・学籍・大学行事予定・大学人事報告
志願者数は3万7524名。前年度比2879名増。



監査人候補者承認の件
任期途中で退任した監査人の後任として、八巻 克彦氏を推薦。すでに八巻氏が令和7年度の同窓会会計の期末監査の対応をしていることが説明された。審議の結果、承認された。

予算大綱・予算案として、入学者数は3542人で会費収入は1億2397万円と昨年比でマイナス150人、525万円の減収。一方、金利上昇に伴い、定期預金の資産運用収入を新たに22万4千円計上。支出面では、ブロック会の年2回開催に伴う助成金・旅費交通費の増額、記念品購入費増額を織り込む。当期収支差額はマイナスとなるが、前年度繰越金を取り崩して補填し、財政の健全性を維持する。

新規派遣講師登録の件
新たに以下5名が派遣講師として承認された。

令和7年度活動状況、令和8年度同窓生数
総会42件、ブロック会10件、女性部会22件、地区行事25件が企画・開催された。

第22回・第23回ホームカミングデーについて
第22回ホームカミングデーは、令和7年11月1日にオクタムフェスティバルと同日開催。懇親会、ARスタンパラリー、相続セミナーを実施した。

「各種申請・報告の手引き」・連絡事項
「各種申請・報告の手引き」は、今年度までは事務局長へ紙ベースで配布。来年度以降は同窓会ホームページの利用を願う。

審議事項

令和8年度全国支部長会開催

同窓会奨学金の件
今年度より学生の応募方法を簡素化した結果、154名の申請があり、70名を採用（支給総額1050万円）。6月18日に授与式を執り行った。

次期会長候補者推薦に関する会議等進捗状況と連絡
次期会長候補者の選出に伴う取り決め事項について以下のとおり説明があり、了承された。

同窓会だより56号（令和7年9月15日発行）報告
13万5945通を発送し、約2066件の返送があった。

令和8年度行事予定の連絡
大学人事報告（令和8年度兼任）【教育振興部】指理恵 事務局員

同窓会活動報告

令和8年度

全国支部長会開催

令和8年6月19日、品川プリンスホテルにて全国支部長会が開催されました。全国から多くの支部長や関係者が集まり、同窓会の更なる発展と絆の強化に向けて審議と報告がなされました。

長・監査人選任に関する内規

役員推薦委員会の設置期間を

会長任期中として常設化すること

任期前退任による副会長・監査人の

選任を役員会に委任可能とする

こと、および副会長の選任区分

（ブロック長と会長推薦）をより

明確化することを定めた。

長5名（網走・北見・紋別、茨城、宮崎、福島、沖縄）、女性部会長3名（山梨、茨城、宮崎）の交代・新任があった。

・5月1日現在の在籍者数は1万4893名（大学院生184名含む）。

東京都支部

支部活動紹介

駒沢ふれあい広場夏祭り

今年で24回目の開催を迎えた「駒沢ふれあい広場夏祭り」は、同窓会東京都支部が地元町会や商店街、行政、学生らとともに実行委員会を組織して運営される地域密着型「駒沢の夏の風物詩」となっています。

同窓会や大学をはじめ各方面から多大なる支援をいただきながら、おかげさまで地域に愛され、子どもたちやご家族、地域の方々や盆踊りファンなど、例年約8,000人もの来場を誇る大イベントに成長をとげてきました。

正門の上には「駒沢ふれあい広場」の大ちょうちん。

右手には盆踊りのやぐらと色とりどりの提灯、中央通り左手には模擬店の大テントと、いつもの大学とはまったく違った空間がそこには広がります。

模擬店は町会や地域、同窓生や学生が出店し、食べ物や飲み物だけでなく、スーパーボールすくいにヨーヨーすくい、くじ引きやゲームコーナーなど子どもたちが楽しめるコンテンツがいっぱいです。

その他にも世田谷法人会の協力を得て「消防車放水体験」や「ペーパークラフト」のコーナー、さらに今年初めての参加となったラグビートップリーグの「リコーブラックラムズ東京」によるラグビー体験コーナーも大人気でした。



記念講堂ステージでも様々なプログラムを行っています。

地元の小学生が集まる子ども和太鼓教室では、当日流れる盆踊りの曲にのせて太鼓の先生の指導のもと和太鼓をたたくことができます。

続いて夏祭り名物「第2ステージ」。学生サークルや関連団体による演奏、演舞、ダンスなど、この日だけのスペシャルステージが繰り広げられます。今年は、応援指導部ブルーベガサス、ストリートダンスサークルKST、仏教系ロックバンドとして活躍の「THE 南無ズ」、ボーカル&ダンスユニット「ヒーロージャパン」が出演。

企画研究会や電気美術研究部といった学生サークルの運営により、来場者の皆様へ大迫力のパフォーマンスをお届けし、会場を大いに沸かせました。

暑さも少しおさまって陽も沈んできた18時ごろからは、「駒沢ふれあい広場」のクライマックス「盆踊り」の始まりです。

正門横の駐車場に特設した盆踊り会場に、二重三重と人の輪ができ、やぐらに設置した大太鼓から響く太鼓の音と音楽にあわせてたくさんの人が盆踊りを楽しめます。

「炭坑節」「東京音頭」など、おなじみの曲を使用し、踊りの会の皆様にも参加していただいているので、その場で初めて体験する方でもすぐに踊れるようになり、笑顔があふれます。

盆踊りの途中には恒例の「お楽しみ抽選会」が、関係各方面からのご協賛により集まった景品をもとに行われ、参加された皆様にドキドキとワクワクをあたえ盛り上がりました。

同窓会新規派遣講師紹介



あんざい さとし
安西 智
(H16.3/国文学科卒)
絵師・絵描きユニット
だるま商店



いとう しゅういち
伊東 秀一
(S63.3/法学学科卒)
テレビ信州解説委員
信州大学特任准教授



みっきー おおの
ミッキー 大野
(S56.3/法学学科卒)
フォークシンガー



にだいめ さんゆうてい えんじょう
二代目 三遊亭 円丈
(H21.3/経済学科卒)
落語家



うちもと けんご
内本 健吾
(H7.3/歴史学科卒)
駒大附属苫小牧高等学校
吹奏楽顧問

15

駒澤大学同窓会ホームページアドレス <https://komazawa-alumni.org/>

令和7・8年度 支部総会開催一覧

支部名	令和8年度 総会 (2026年4月1日～2027年3月31日)	令和7年度 総会 開催報告 (2025年4月1日～2026年3月31日)
	開催予定・開催日・場所	開催報告
函館支部	開催予定あり 未定	2025年10月4日 函館国際ホテル
胆振・日高支部	2026年7月29日 グランドホテルニュー王子	2026年1月31日 グランドホテルニュー王子
道北・旭川支部	2026年10月3日 旭川トーヨーホテル	2025年10月5日 旭川トーヨーホテル
札幌支部	2026年11月14日 ホテルノースシティ	2025年11月9日 ホテルノースシティ
空知支部	2026年11月7日 岩見沢平安閣	令和7年度は開催なし
十勝支部	2026年10月3日 とかちプラザ	2025年9月27日 北海道ホテル
釧路・根室支部	2026年7月25日 アクア・パールくしろ	2025年7月26日 アクア・パールくしろ
網走・北見・紋別支部	2026年10月3日 ホテル黒部	2025年10月18日 ホテル黒部
青森県支部	2026年7月18日 ウェディングプラザアラスカ	2025年7月12日 ウェディングプラザアラスカ
岩手県支部	2026年11月8日 ホテルメトロポリタン盛岡	令和7年度は開催なし
宮城県支部	2026年11月7日 仙台サンブラザ	2025年11月29日 仙台サンブラザ
秋田県支部	2026年11月14日 ANAクラウンプラザホテル秋田	2025年11月8日 秋田キャッスルホテル
山形県支部	2026年11月21日 山形グランドホテル	令和7年度は開催なし
福島県支部	開催予定なし	2025年11月29日 会津若松ワシントンホテル
茨城県支部	開催予定なし	2025年10月19日 L'AUBE kasumigaura
栃木県支部	2026年7月11日 ホテルニューイタヤ	2025年7月19日 ホテルニューイタヤ
群馬県支部	開催予定なし	2025年11月29日 群馬ロイヤルホテル
山梨県支部	2026年6月20日 ベルクラシック甲府	令和7年度は開催なし
埼玉県支部	開催予定なし	令和7年度は開催なし
千葉県支部	開催予定なし	令和7年度は開催なし
東京都支部	開催予定なし	令和7年度は開催なし
神奈川湘南支部	2026年6月13日 深沢キャンパス	令和7年度は開催なし
神奈川中央支部	2026年6月13日 深沢キャンパス	令和7年度は開催なし
神奈川西部支部	2026年6月13日 深沢キャンパス	令和7年度は開催なし
神奈川北部支部	2026年6月13日 深沢キャンパス	令和7年度は開催なし
長野県支部	2026年11月7日 ホテルメトロポリタン長野	2025年11月8日 ホテルメトロポリタン長野
新潟県支部	2026年11月14日 新潟東映ホテル	令和7年度は開催なし
富山県支部	2026年11月28日 ホテルグランテラス富山	2025年11月15日 ホテルグランテラス富山
石川県支部	2026年10月18日 金沢東急ホテル	2025年10月19日 金沢東急ホテル
福井県支部	2026年10月24日 ユアーズホテルフクイ	2025年10月4日 ウェルアオッサ

支部名	令和8年度 総会 (2026年4月1日～2027年3月31日)	令和7年度 総会 開催報告 (2025年4月1日～2026年3月31日)
	開催予定・開催日・場所	開催報告
岐阜県支部	未定	令和7年度は開催なし
静岡県支部	開催予定なし	2025年6月22日 ホテルアソシア静岡
愛知県支部	開催予定なし	令和7年度は開催なし
三重県支部	開催予定なし	2025年10月13日 ブラザ洞津
滋賀県支部	開催予定なし	令和7年度は開催なし
京都府支部	2026年10月24日 京都プライトンホテル	2025年10月18日 京都八百一本館セイボリー
大阪府支部	開催予定なし	2025年6月14日 ホテル日航大阪
兵庫県支部	開催予定なし	2026年2月21日 神戸三宮東急REIホテル
奈良県支部	開催予定なし	2026年3月29日 橿原神宮 養正殿
和歌山県支部	2026年11月14日 アパローム紀の国	令和7年度は開催なし
鳥取県支部	開催予定なし	2025年12月13日 パンケット&ウェディングchouchou
島根県支部	2026年7月11日 松江エクセルホテル東急	2025年7月24日 三好家
岡山県支部	2026年7月4日 ビュアリティまきび	2025年7月5日 ビュアリティまきび
広島県支部	2026年11月23日 ホテルグランヴィア広島	2025年11月23日 ホテルメルパルク広島
山口県支部	開催予定なし	2026年2月14日 山口グランドホテル
徳島県支部	2027年2月20日 ザ・グランドパレス徳島	2026年2月21日 ザ・グランドパレス徳島
香川県支部	2027年2月13日 未定	2026年2月15日 サンポートホール高松・JRCクレメント高松
愛媛県支部	開催予定なし	2025年10月25日 ANAクラウンプラザホテル松山
高知県支部	2026年11月28日 城西館	令和7年度は開催なし
福岡県支部	2026年9月26日 八仙閣本店	2025年9月20日 クラウンパレスホテル小倉
佐賀県支部	2026年7月18日 ホテルニューオータニ佐賀	2025年6月7日 ホテルニューオータニ佐賀
長崎県支部	2026年11月14日 ホテルニュー長崎	2025年10月18日 ホテルニュー長崎
熊本県支部	2026年9月5日 アークホテル熊本城前	2025年9月6日 アークホテル熊本城前
大分県支部	2026年7月4日 レンブラントホテル大分	2025年7月5日 レンブラントホテル大分
宮崎県支部	2026年10月3日 ホテルメリージュ	2025年10月11日 ホテル メリージュ
鹿児島県支部	2026年10月17日 ホテルタイセイアネックス	2025年10月18日 ホテルタイセイアネックス
奄美支部	開催予定あり 未定	2025年11月22日 ホテルビックマリン奄美
沖縄県支部	2026年10月10日 パシフィックホテル沖縄	2025年10月4日 パシフィックホテル沖縄
台湾支部	2026年8月29日 シーザーパーク ホテル タイペイ	2025年8月30日 シーザーパーク ホテル タイペイ

※上記は、2026年8月上旬までに報告・申請された内容であり、変更される場合があります。

令和7年度 女性部会開催一覧

支部名	開催日	開催場所・内容
胆振・日高支部	2025年9月16日	くだもの農家浜田園・膽振山大雄寺
札幌支部	2025年5月25日	ホテルノースシティ
空知支部	2025年6月29日	エスコンフィールド北海道
十勝支部	2026年1月18日	hikari kitchen
岩手県支部	2025年11月29日	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
秋田県支部	2025年10月26日	寧々家・秋田泉店
栃木県支部	2025年10月4日	ホテルニューイタヤ
群馬県支部	2025年9月29日	大本山總持寺 横浜中華街周辺
新潟県支部	2025年10月19日	長岡グランドホテル
石川県支部	2025年7月5日	かなざわ玉泉亭
福井県支部	2025年12月6日	コートヤード・バイ・マリオット福井
三重県支部	2025年11月2日	熱田神宮～伊勢神宮
京都府支部	2025年12月7日	アサヒビール大山崎山荘美術館・京すいしん

支部名	開催日	開催場所・内容
兵庫県支部	2025年10月4日	セトレハイランドヴィラ姫路
島根県支部	2026年2月7日	ピストロクール
広島県支部	2025年9月15日	マツダスタジアム
徳島県支部	2025年5月18日	ザ・グランドパレス
福岡県支部	2026年3月3日	柳川「御花」・水郷・川下り
沖縄県支部	2026年2月7日	今帰仁城跡

ブロック名	開催日	開催場所・内容
北海道ブロック	2026年1月31日	苫小牧市民会館/グランドホテルニュー王子
東京ブロック KOMABI TOKYO	2025年12月6日	コートヤード・ バイ・マリオット東京ステーション
埼玉ブロック	2026年3月15日	鷲宮神社と河津桜の懐き料理

駒澤大学同窓会ホームページアドレス <https://komazawa-alumni.org/>

14